トステム株式会社

アルミと樹脂の複合サッシ
シンフォニー 雨戸サッシ(半外付型・204)

取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。　※ □ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

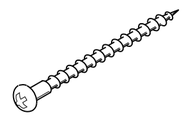
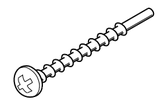
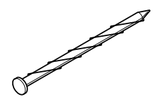
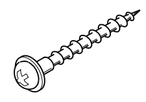
⚠注　意

●思わぬけがや障子落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で約80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
・本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・必ず指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建て込んでください。
・開口部を付け枠でふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
・躯体取付けねじは必ず締め付けてください。
・テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。指定のねじで締め付けてください。
・障子の建て込み・調整後、必ず外れ止め調整ねじを上げてください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取り合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
・テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。
・鏡板戸袋タイプの場合は組立て後、戸袋皿板・戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に必ずシーリング材を充てんしてください。(組立て説明書参照)
・側板ブラケットは柱等の構造体又は補強した個所に取り付けてください。
・外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm)

■取付け上のお願い

●必ず指定のねじで枠を躯体に固定した後、障子を建て込んでください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●戸袋の仮止めの後、必ず戸袋皿板の水平を出してから固定してください。

■取付けねじ一覧表

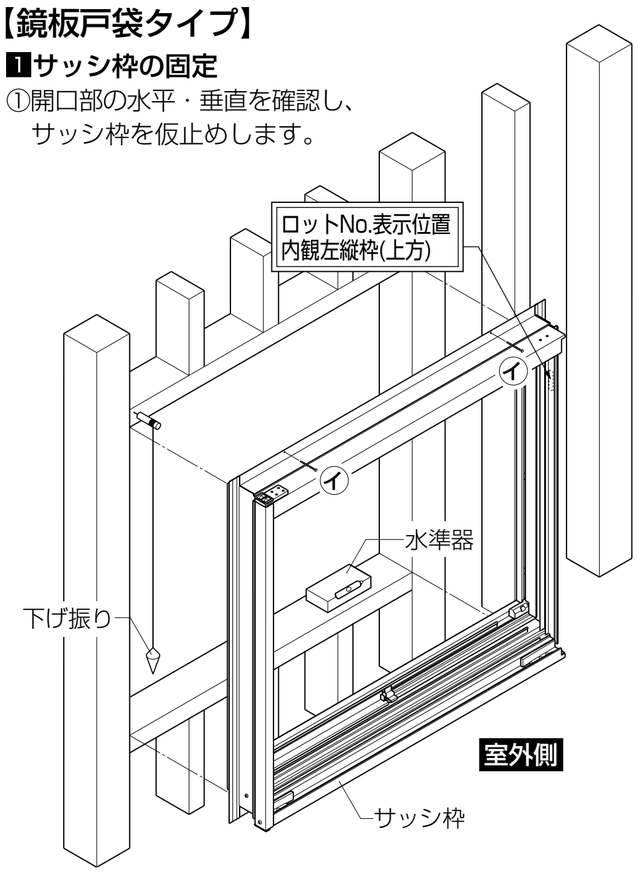
㋑	㋺	㋩
φ2.1×25スクリュー釘	 φ3.8×38丸木ねじ	φ3.5×20皿木ねじ(アングル部)
㋥	㋭	㋬
 φ4×35バインドタッピンねじ	 φ2.1×32スクリュー釘	 ワッシャー付き丸木ねじ〔テラス(W2000以上)のみ〕

■組立て順序

【鏡板戸袋タイプ】

1 サッシ枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、サッシ枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器でサッシ枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

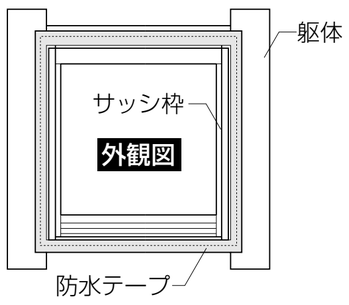
⚠注　意

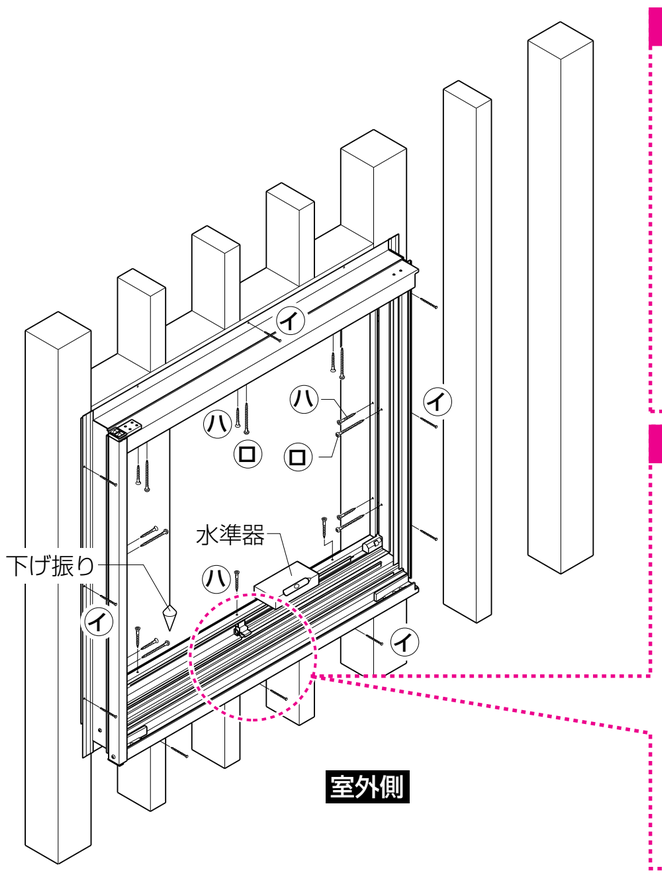
●取付けねじは必ず締めつけてください。下枠が外側にころび、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。

※躯体と下枠の間に透き間が発生した場合は、必ずかい物等で調整してください。

⚠注　意

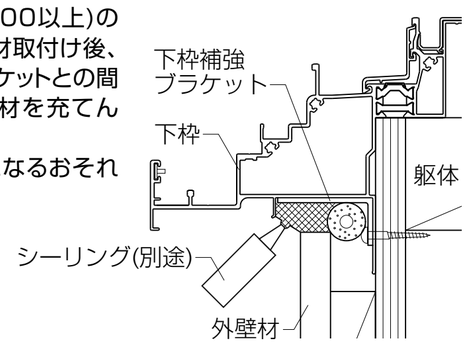
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。





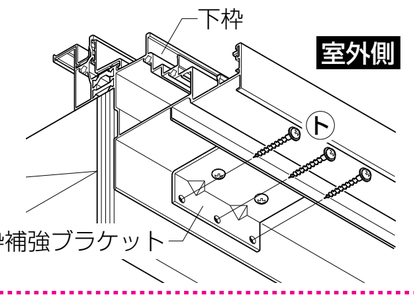
⚠注　意

●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。
漏水の原因になるおそれがあります。



⚠注　意

●テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。土台などの構造材に指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。
※窓およびテラス(W2000未満)の場合は、下枠補強ブラケットは付いていません。

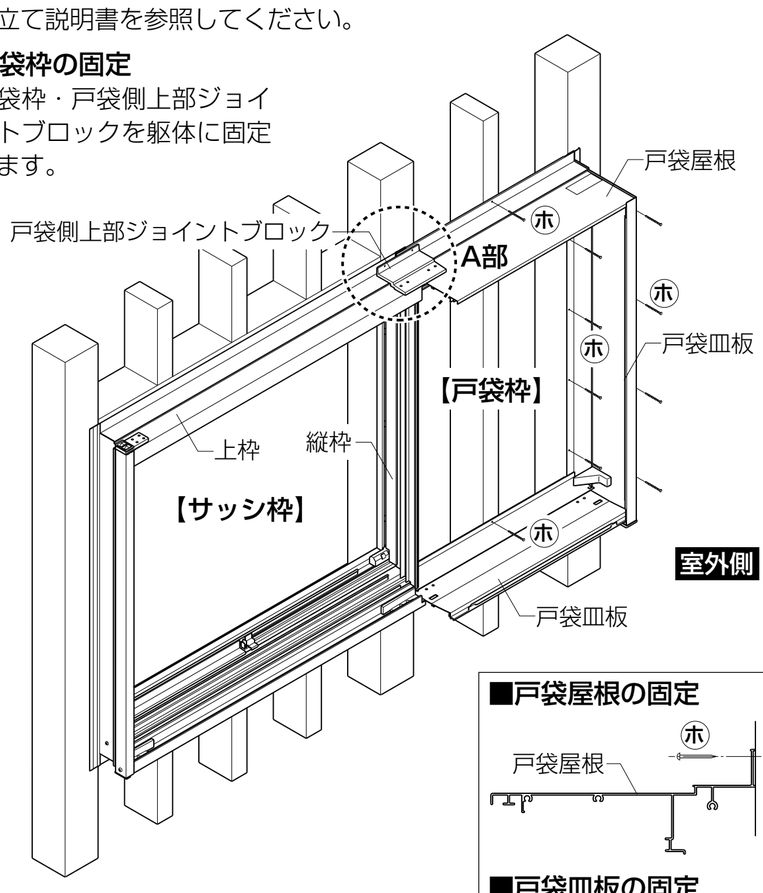


2 サッシ枠と戸袋枠の連結

※組立て説明書を参照してください。

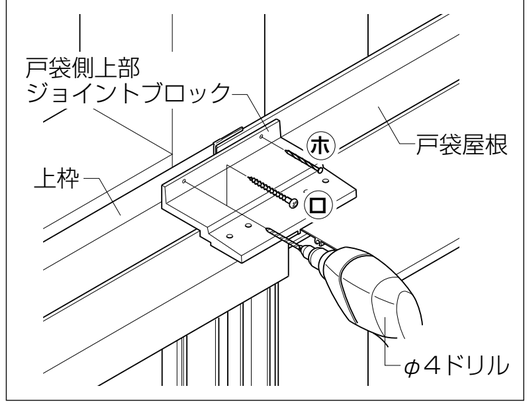
3 戸袋枠の固定

●戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。



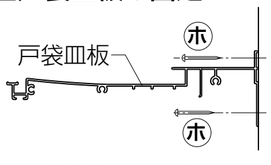
■戸袋側上部ジョイントブロックの固定(A部詳細図)

※サッシ枠側はφ4のドリルで戸袋側上部ジョイントブロックの下穴を広げてください。

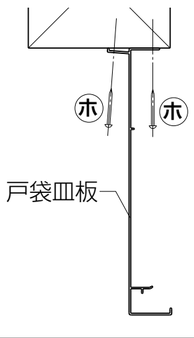


■戸袋屋根の固定

■戸袋皿板の固定

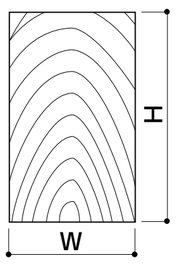


■戸袋側板の固定



4 内張り耐水ベニヤの取付け

●下表の寸法に従って切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。



■204

呼　称	W寸法
22(06)	655
30(09)	885

呼　称	H寸法
25(07)	807
30(09)	957
35(10)	1107
40(12)	1257
45(13)	1407
60(18)	1859
66(20)	2059

■MM204

呼　称	W寸法
073	720
080	785
101	995

呼　称	H寸法
09	984
11	1184
13	1384
15	1584
18	1859
20	2059

■MM204単純段差

呼　称	W寸法
080	785
101	995

呼　称	H寸法
18	1887
20	2087

■在来

呼　称	W寸法
22	685
30	935

呼　称	H寸法
25	764
30	916
35	1067
40	1219
45	1370
50	1522
58	1781
59	1811
60	1842
61	1872
66	2054
73	2237

■MM

呼　称	W寸法
073	720
086	850
092	910
101	995
104	1025

呼　称	H寸法
09	984
11	1184
13	1384
15	1584
18	1884
20	2084
22	2284

■204単純段差

呼　称	W寸法
30	885

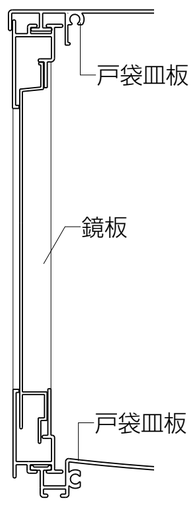
呼　称	H寸法
60	1887
66	2087

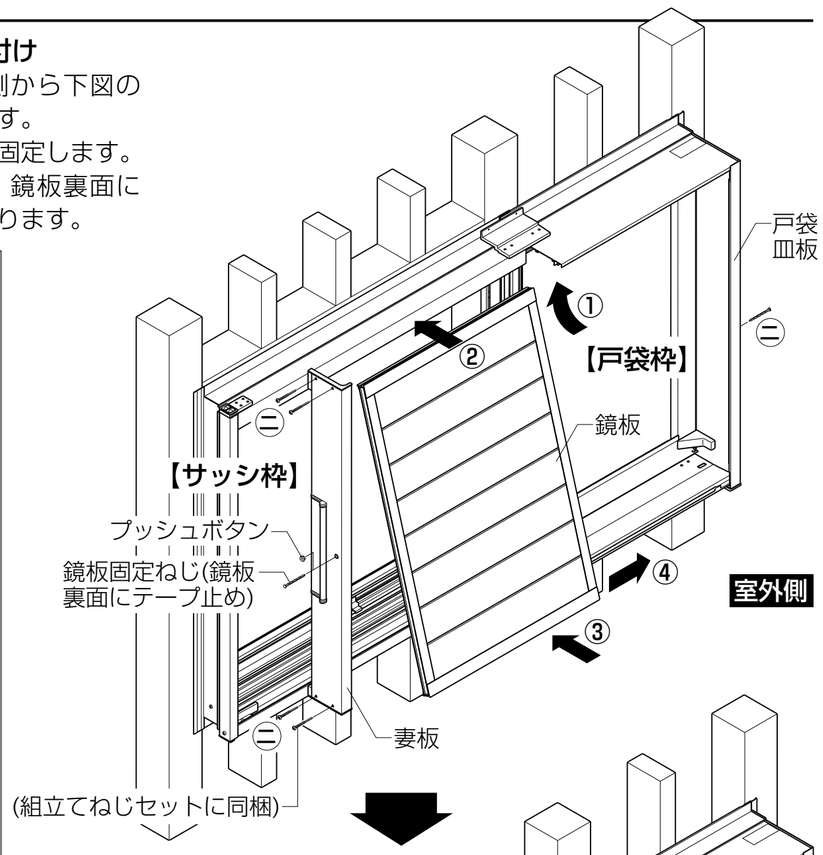
5 鏡板・妻板の取付け

①鏡板をサッシ枠側から下図の手順で差し込みます。
②妻板・戸袋側板と固定します。
※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテープ止めしてあります。

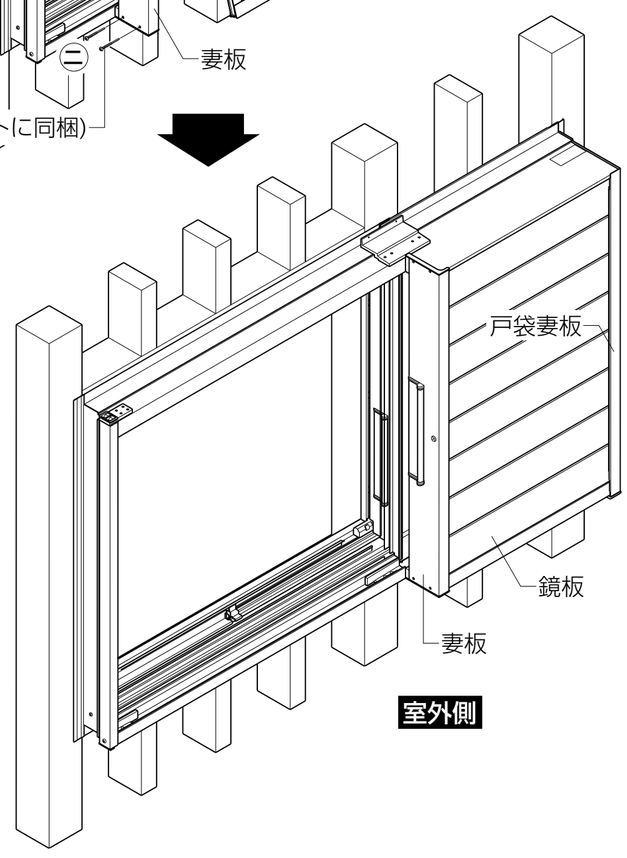
■鏡板の差込み

※上枠側から先に入れてください。





※入隅等のため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットに同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。



■組立て順序

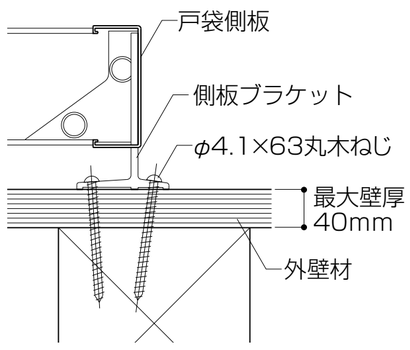
【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

●枠を取付け面に当てて側板ブラケットの出幅を調整します。側板ブラケットを躯体に固定し、枠を仮止めします。下枠の水平を出した後固定します。

⚠注　意

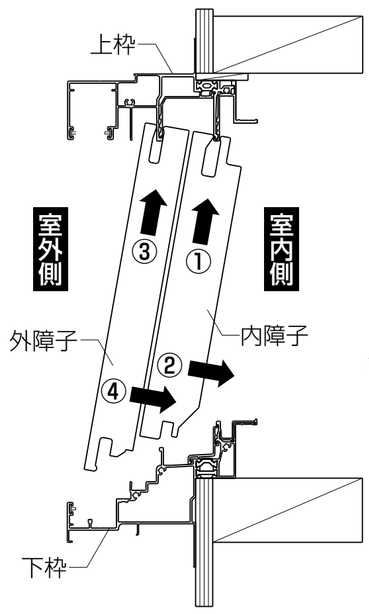
●側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取り付けてください。
●外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから木ねじで固定してください。
（最大壁厚40mm）



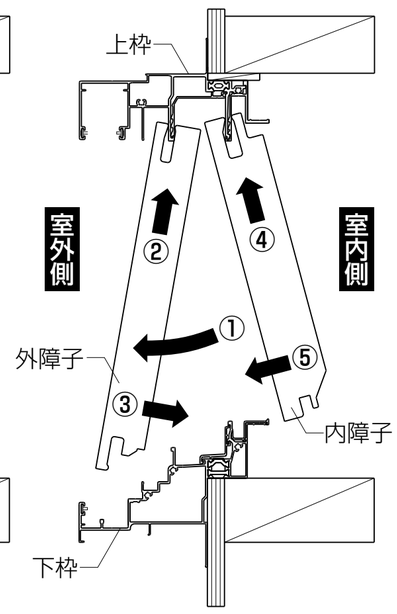
6 障子の建込み

●下図の手順で障子を入れます。
※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】



【室内側からの建込み】



■雨戸の建付けと締まり受けの調整

■雨戸の建付け調整

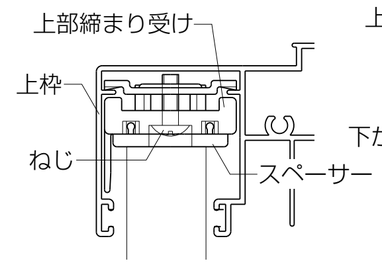
①雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締まり受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

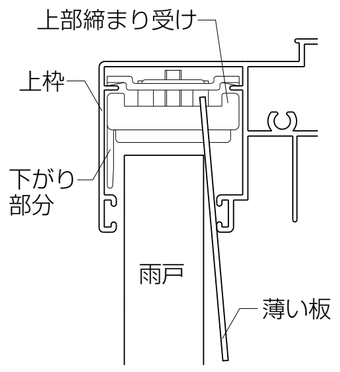
■上枠締まり受けの調整

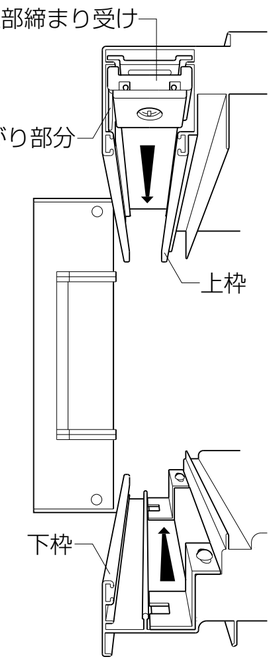
①上枠締まり受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
②雨戸をすべて閉め、締まりのロッドを上げます。
③直尺などの薄い板を雨戸と上枠の透き間から差し込み、上枠締まり受けをロッドに当たるまで移動させます。
④締まりのロッドを下げ、雨戸をあけます。上枠締まり受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
⑤締まりのロッドのかかり具合を確認した後、ねじを締めます。

■下枠締まり受けの調整

●下枠締まり受けの穴にロッド位置がくるよう、

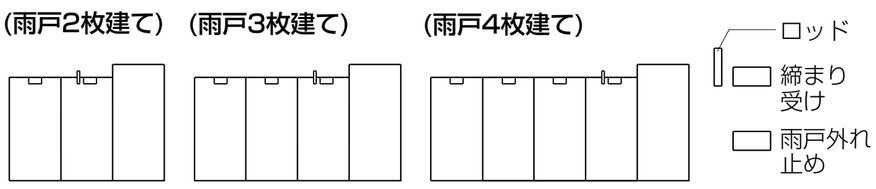






■雨戸外れ止めの調整

●雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定してください。
※雨戸外れ止めは、締まり受けと共通部品です。



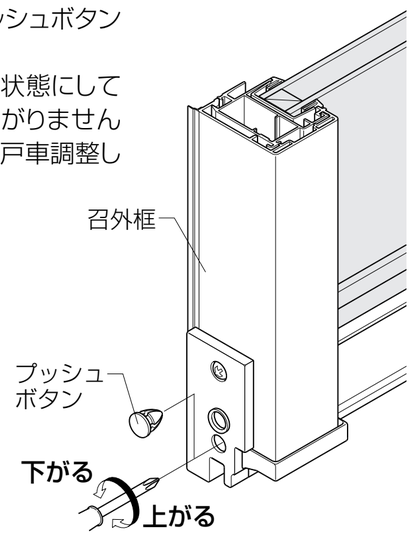
■建付け調整

■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。）
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い

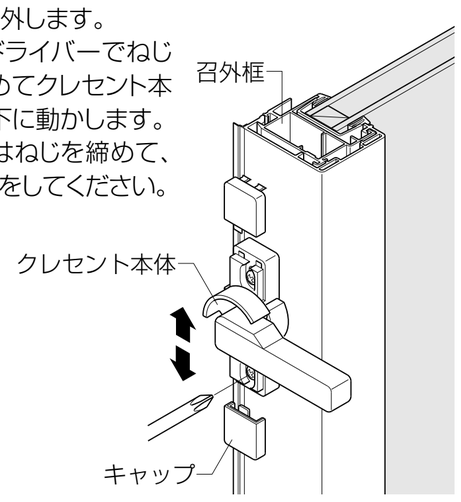
●召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（部品を下げて透き間をなくします。）



■クレセント調整

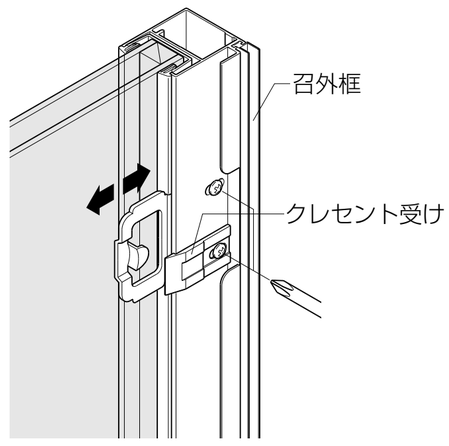
【上下方向の調整】（クレセント本体）

①マイナスドライバーでキャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】（クレセント受け）

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はねじを締めてください。

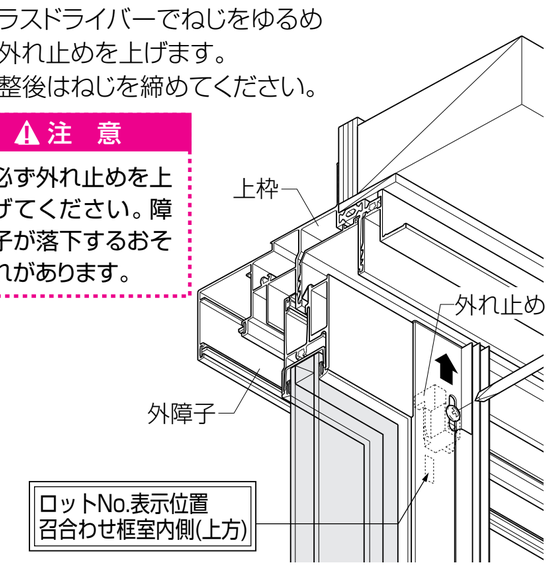


■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はねじを締めてください。

⚠注　意

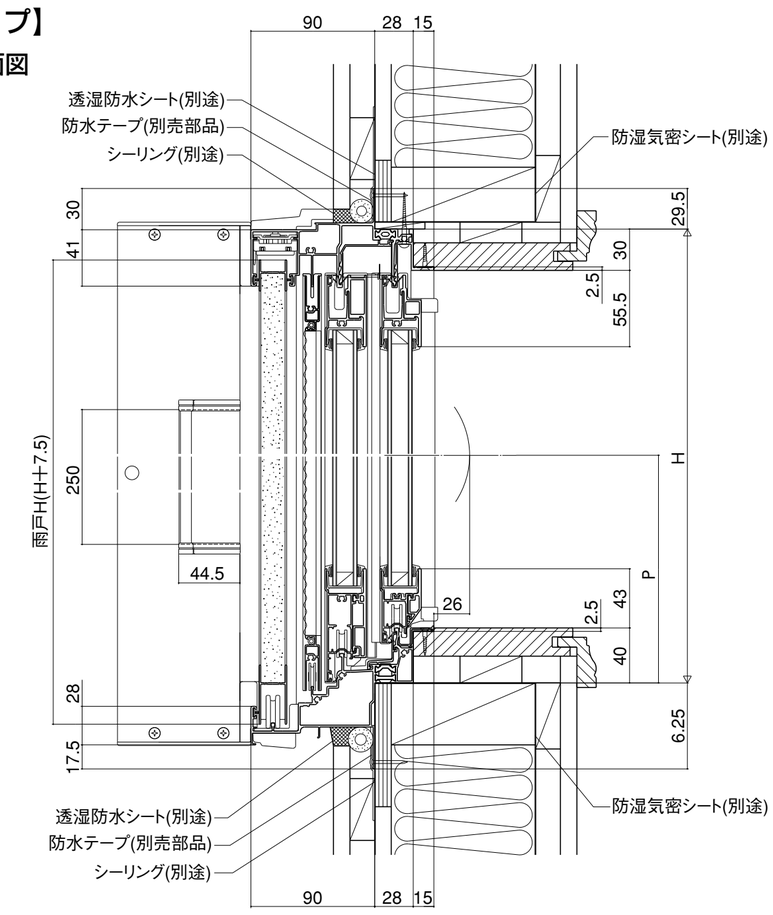
●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



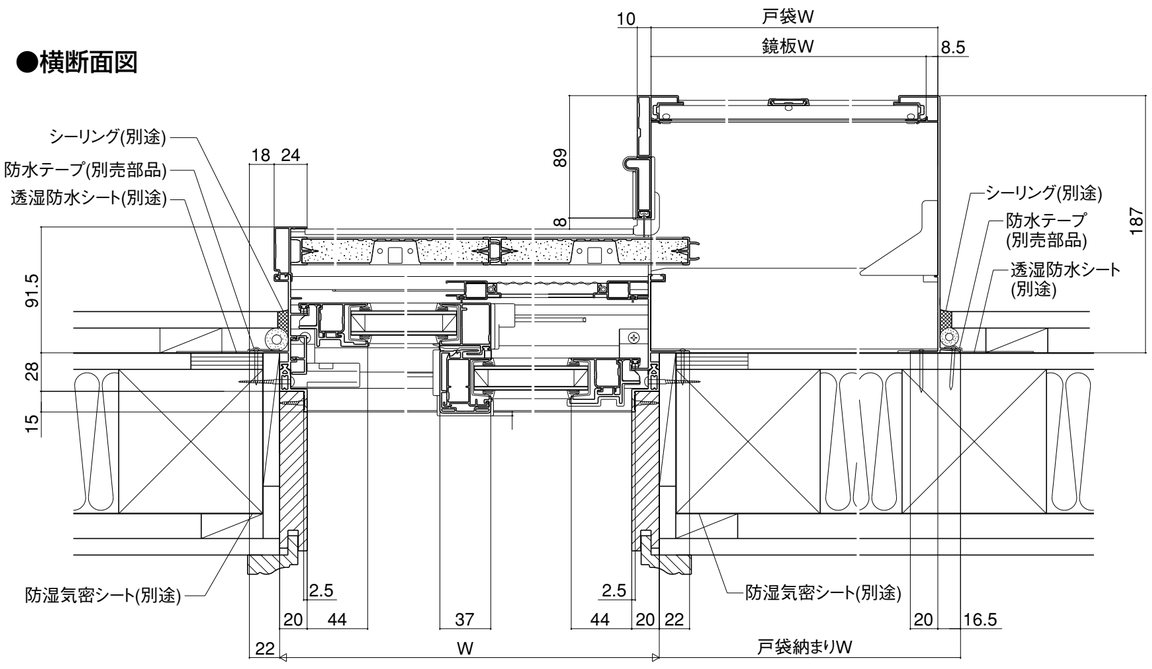
■参考納まり図

【窓タイプ】

●縦断面図

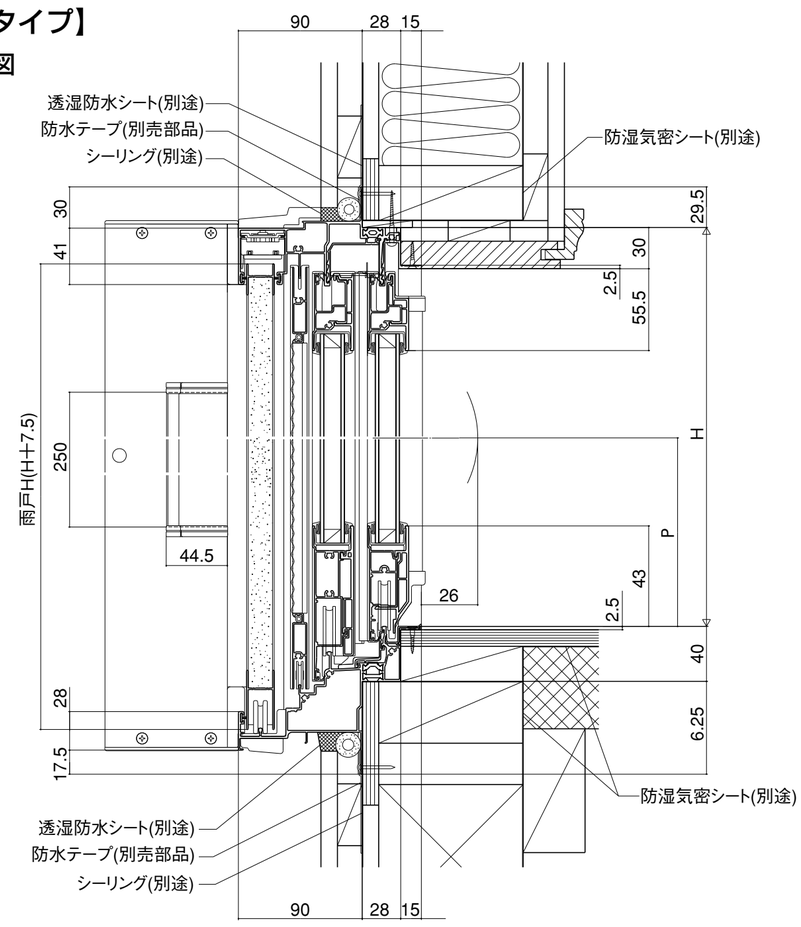


●横断面図

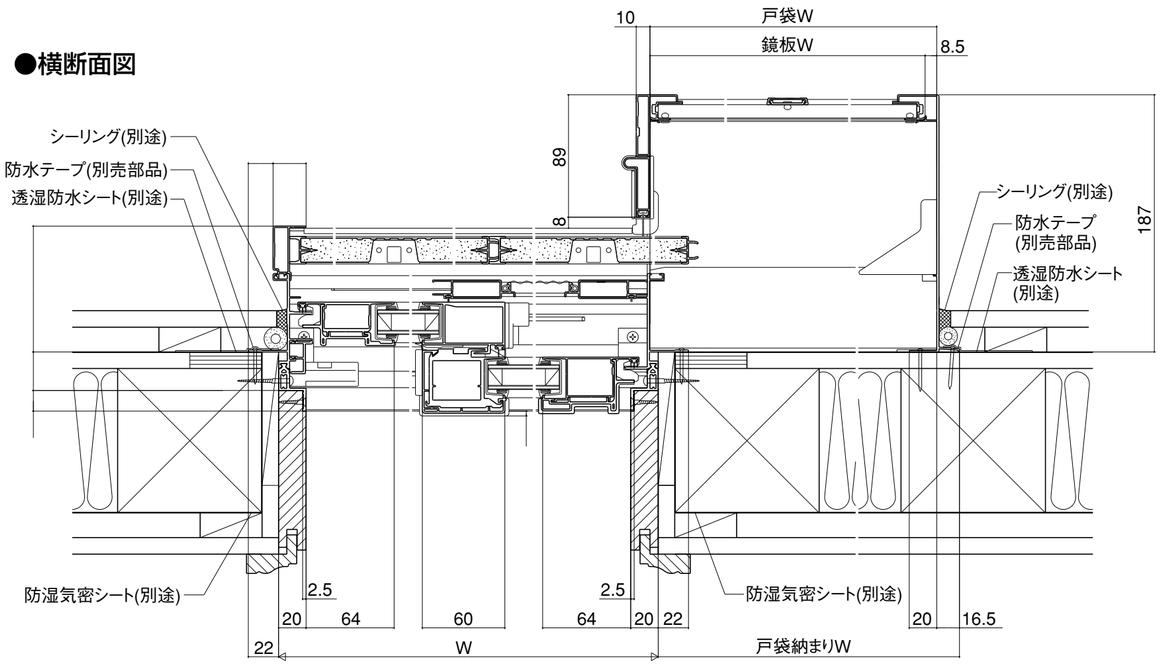


【テラスタイプ】

●縦断面図



●横断面図



■組立て順序

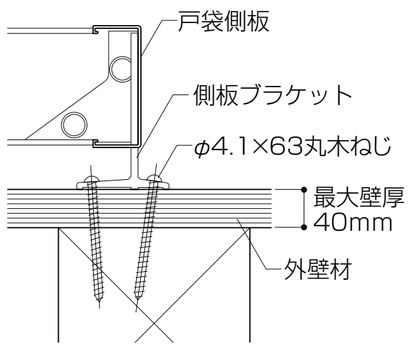
【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠・戸袋枠の固定

●枠を取付け面に当てて側板ブラケットの出幅を調整します。側板ブラケットを躯体に固定し、枠を仮止めします。下枠の水平を出した後固定します。

⚠注　意

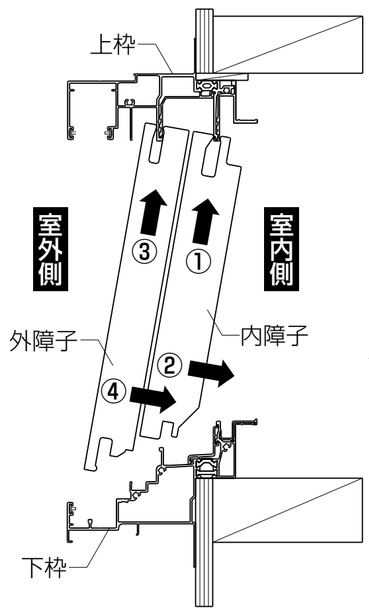
●側板ブラケットは、柱などの構造材または補強した個所に取り付けてください。
●外壁材の上から側板ブラケットを取り付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、シーリング材を充てんしてから木ねじで固定してください。
（最大壁厚40mm）



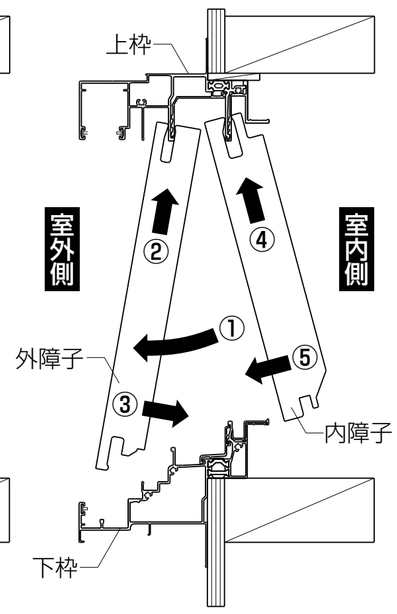
6 障子の建込み

●下図の手順で障子を入れます。
※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

【室外側からの建込み】



【室内側からの建込み】



■雨戸の建付けと締まり受けの調整

■雨戸の建付け調整

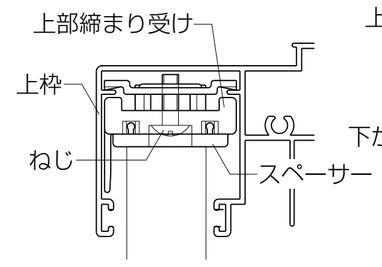
①雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締まり受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

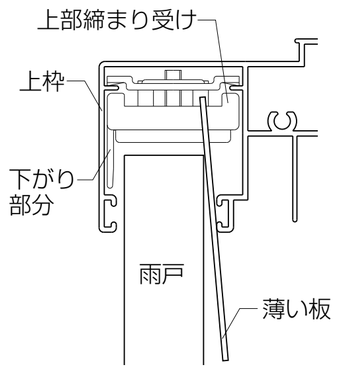
■上枠締まり受けの調整

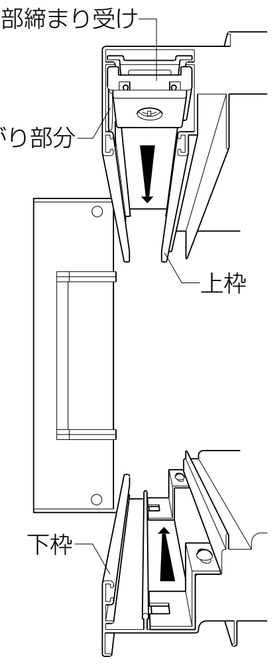
①上枠締まり受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
②雨戸をすべて閉め、締まりのロッドを上げます。
③直尺などの薄い板を雨戸と上枠の透き間から差し込み、上枠締まり受けをロッドに当たるまで移動させます。
④締まりのロッドを下げ、雨戸をあけます。上枠締まり受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
⑤締まりのロッドのかかり具合を確認した後、ねじを締めます。

■下枠締まり受けの調整

●下枠締まり受けの穴にロッド位置がくるよう、

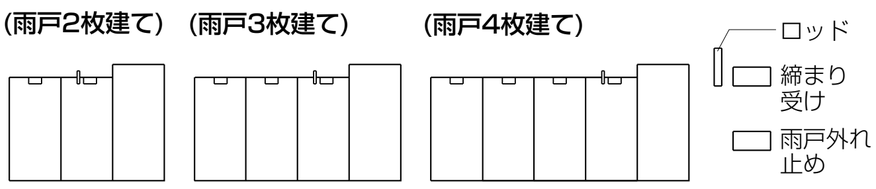






■雨戸外れ止めの調整

●雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定してください。
※雨戸外れ止めは、締まり受けと共通部品です。



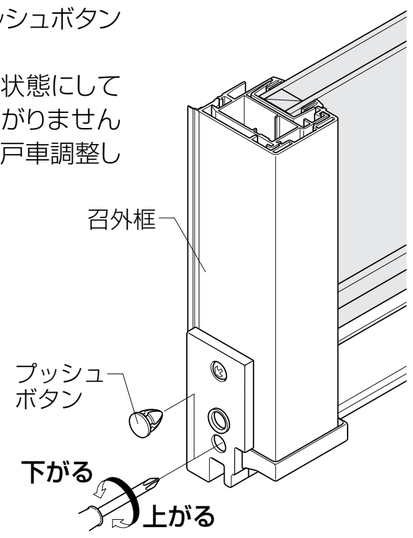
■建付け調整

■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。）
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い

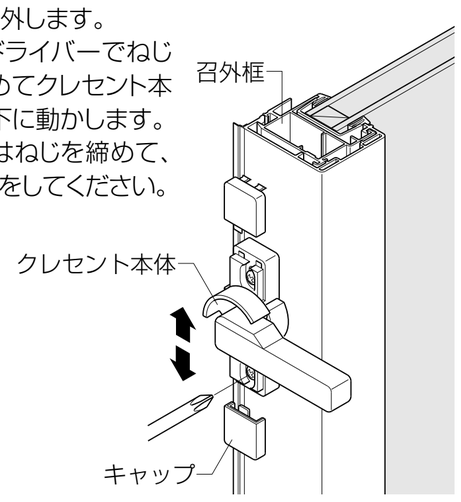
●召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（部品を下げて透き間をなくします。）



■クレセント調整

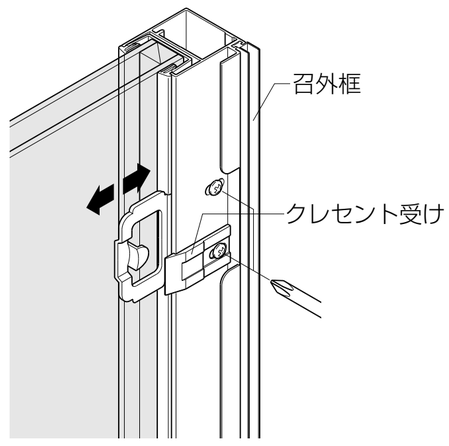
【上下方向の調整】（クレセント本体）

①マイナスドライバーでキャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】（クレセント受け）

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はねじを締めてください。

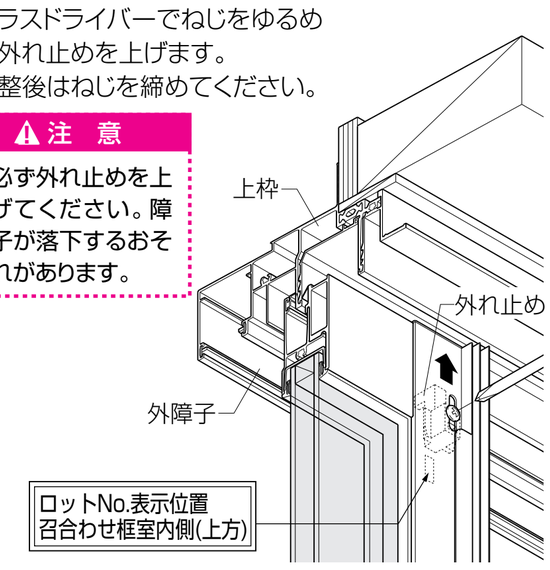


■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はねじを締めてください。

⚠注　意

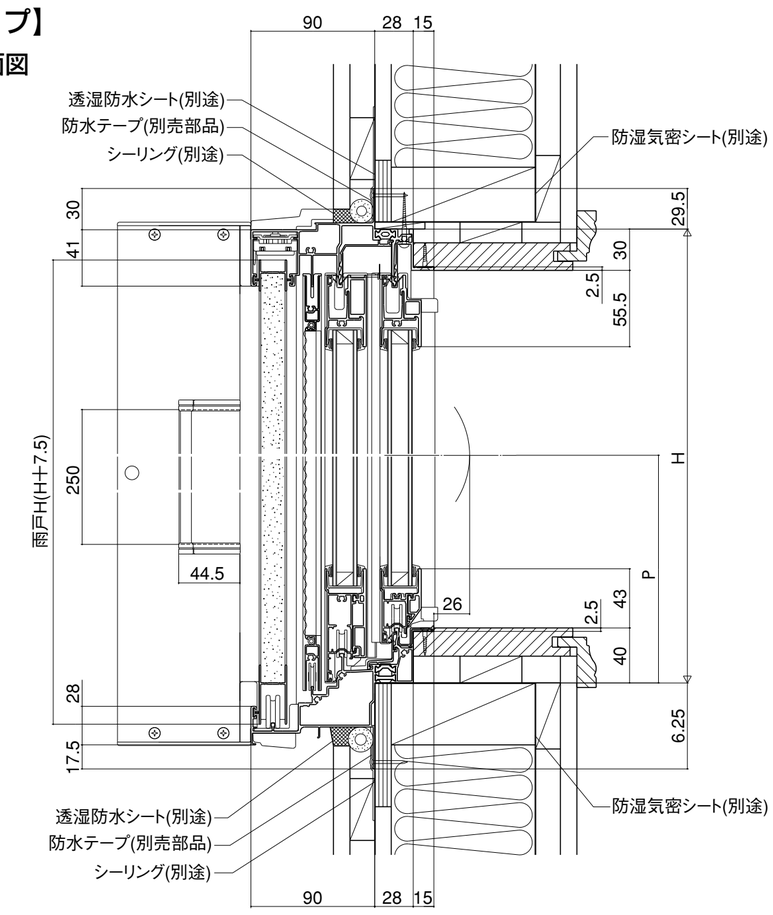
●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。



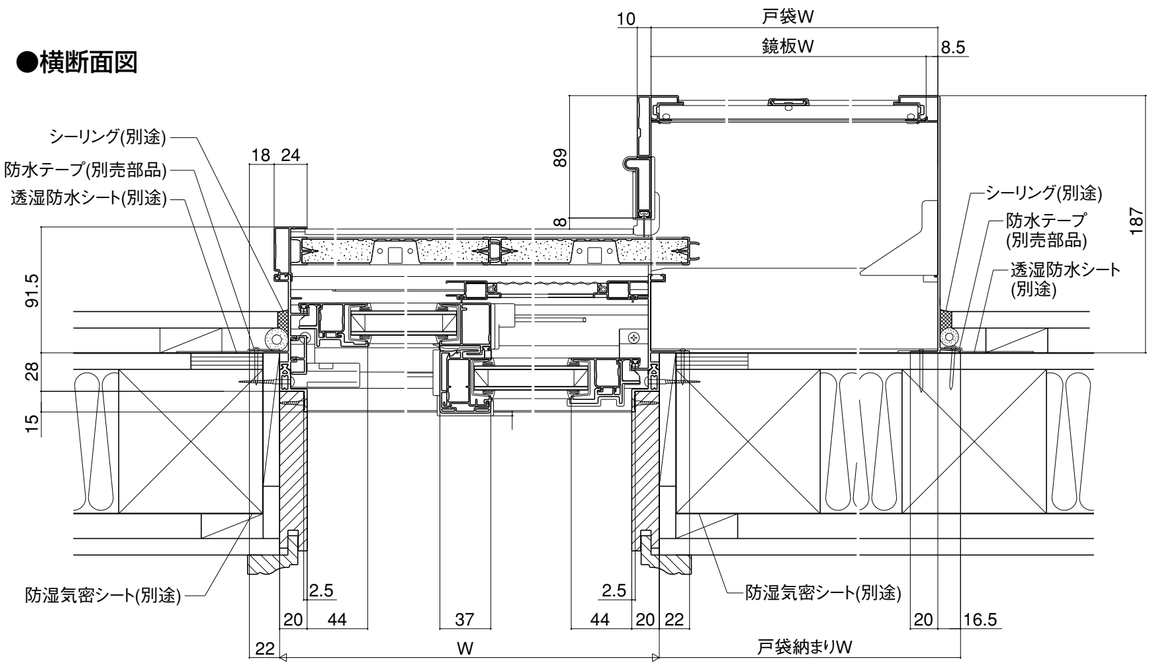
■参考納まり図

【窓タイプ】

●縦断面図

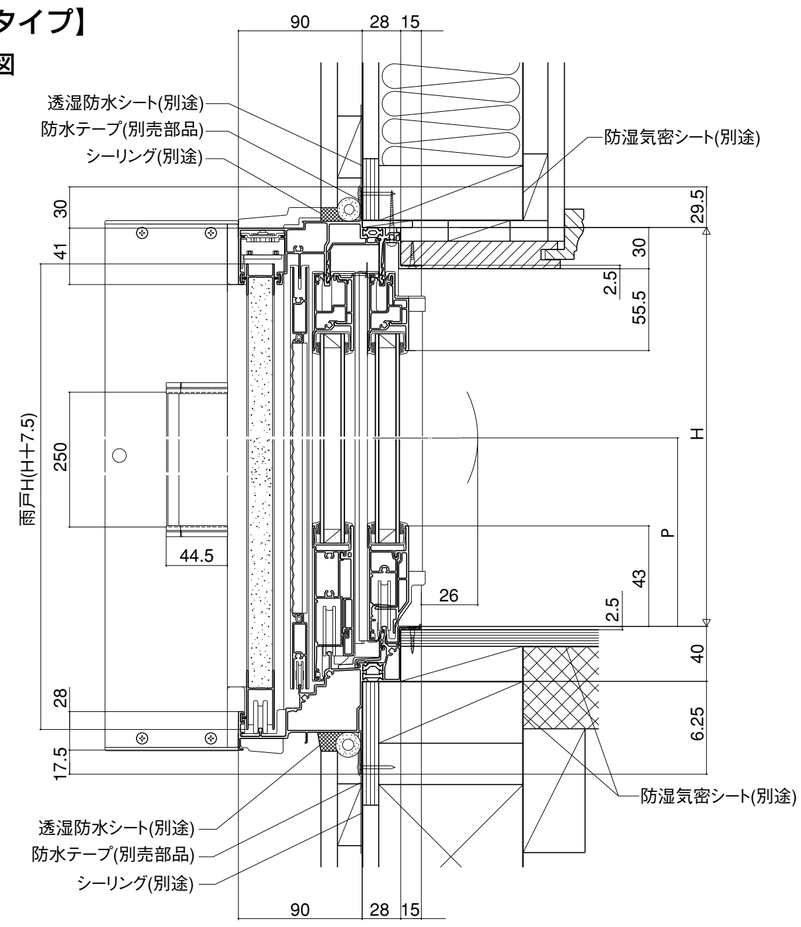
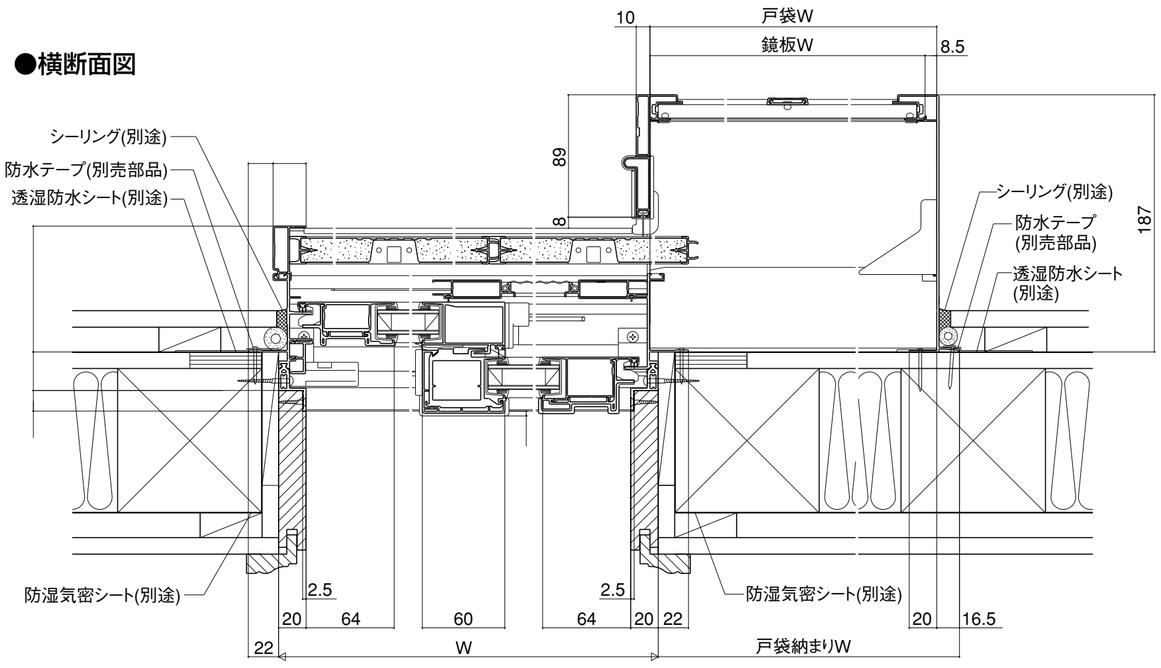


●横断面図



【テラスタイプ】

●縦断面図



●横断面図